

鹿児島県私立学校教頭研修会（鹿児島県私立中学高等学校協会）

独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「JSC」という。）では、ウェブサイト『学校安全Web』※1で、学校事故防止等に関する学校安全情報を提供しています。

また、JSC（福岡支所）では、担当地域（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）の各教育委員会・学校（園）・関係機関（以下「関係機関等」という。）と連携し、関係機関等が主催する講習会等で、事故防止のための情報提供や災害共済給付制度の説明を実施しております。

講習会等において、JSCが作成した事故防止に資する資料の活用方法を幅広く周知し、資料の活用促進を図ることで、学校の管理下における事故防止の支援を含め、円滑な学校教育の実施に積極的に貢献していきたいと考えております。

【講師派遣依頼をいただきました〔鹿児島県私立学校教頭研修会〕】

今回は、鹿児島県私立中学高等学校協会から研修会への講師派遣についてご相談をいただき、鹿児島県内の私立学校の教頭先生が集まる研修会で、「学校事故再発防止対策（具体的取組事例の紹介など）について」という演題での講演依頼となりました。その後、教頭先生方からの質問を事前に取りまとめていただいたり、JSCから資料をお送りしたりするなど、事務局と連絡を取り合いながら当日に向けて準備を進めました。説明内容については、管理職向けの説明となりますので、危機管理やマネジメントに関する部分を盛り込むことにしました。



【研修の様子をご紹介します】

本研修会は、令和4年8月19日（金）に鹿児島市内のホテルの一室で開催されました。研修会自体は13時30分から16時まで行われましたが、JSCはその中の1時間をいただき、学校事故再発防止対策について説明させていただきました。

学校等での事故を減らすために

最初に日本スポーツ振興センター及び災害共済給付制度の概要について簡潔に説明し、次に学校安全に取り組む法的根拠等について説明しました。鹿児島県の災害の状況については、今回の参加者は中学校・高等学校の教頭先生だったので、統計に関しては、中学校・高等学校の状況を中心に説明しました。そして通学中における事故防止の留意点、実際の裁判例から考える事故防止についても説明しました。学校安全Webについてもご紹介し、学校安全資料の閲覧、学校事故事例検索データベース（※2）について説明しました。

最後は事前にいただいていた質問に対し、回答していきました。質問の内容は、骨折事故の増加についてや、感染症対策による生活様式の変化、施設の老朽化による事故、突発的な事故に対しての適切な対応について、などと多岐に渡りました。

説明をしていて気付いた点としては、先生方は特に、実際の裁判例から考える事故防止、免責の特約、学校での事故後のアフターフォロー、感染症対策による生活様式の変化に関する部分への関心が高いように見受けられました。

下記2枚の画像は当日使用した投影資料の一部です。



鹿児島県の災害の状況②負傷の部位別（令和2年度）

| 頭部・顔部 | 中学校 | 高等学校 |
|-------|-----|------|
| 頭部 | 133 | 115 |
| 顔部 | 19 | 23 |
| 眼部 | 162 | 84 |
| 頰部 | 9 | 7 |
| 耳部 | 11 | 4 |
| 鼻部 | 30 | 32 |
| 口部 | 15 | 13 |
| 歯部 | 27 | 29 |
| 顎部 | 26 | 15 |
| 計 | 432 | 321 |

| 体幹部 | 中学校 | 高等学校 |
|-----|-----|------|
| 腰部 | 73 | 22 |
| 胸部 | 73 | 91 |
| 腹部 | 36 | 27 |
| 腕部 | 8 | 8 |
| 背部 | 5 | 3 |
| 膝部 | 71 | 51 |
| 臀部 | 25 | 18 |
| 計 | 291 | 220 |

| 上肢部 | 中学校 | 高等学校 |
|-------|-------|------|
| 上腕部 | 28 | 18 |
| 肘部 | 84 | 68 |
| 前腕部 | 155 | 45 |
| 手関節部 | 208 | 117 |
| 手・手指部 | 810 | 513 |
| 計 | 1,285 | 759 |

| 下肢部 | 中学校 | 高等学校 |
|----------|-------|-------|
| 大腿部・股関節部 | 187 | 96 |
| 膝部 | 176 | 270 |
| 下腿部 | 124 | 102 |
| 足関節部 | 740 | 578 |
| 足・足指部 | 228 | 158 |
| 計 | 1,455 | 1,199 |

実際の裁判例から考える事故防止

事例3 危険性の高い練習では、最大限の安全配慮を行きましょう

事例の概要 高校野球部のハーフバットング練習中、打球が投手を直撃し顔面骨折等による障害が生じた事故について、野球部監督（教員）に安全配慮義務に欠ける過失があったとして学校の法的責任が認められた。

裁判例の経緯 ハーフバットングは、実際の時間や方法の如何によっては投手にとって危険性の高い練習方法である。打球距離を短くしてハーフバットングを実施する場合には、投手が打球直撃による怪我防止のために十分な安全配慮義務を負う必要がある。必要事項などの条件が満たし、時間内に、投手の打球距離等についても状況に応じた調整をする等、その細かく安全に配慮したうえ実施するべきものである。

裁判例のポイント 練習の実施状況（打球距離の長さ）、高投の投球の状況等、練習時の具体的な状況に応じた適切な配慮も心がける必要があります。

【最後に】

先生方との雑談の中ではありましたが、災害共済給付制度の全国での加入率について御質問をいただきました。ある学校の教頭先生は、本研修会前に養護教諭に何か質問はないかと聞いてくださるなど、先生方なりに興味と関心を持って研修会に臨んでくださることを感じ、ありがたく思いました。

御参加いただいた参加者からのアンケートの一部を御紹介すると、

- ・「部活、体育関係などを中心とした事故発生時の具体的対応の講習会を定期的で開催してほしい。その動画配信も効果があると思う。」
- ・「今回頂いたパンフレット等は携帯用などがあり利便性が高いと感じた。」
- ・「学校で聞いてみて、初めて養護教諭が一部の資料を持っていることが分かったが、全ては把握していない、部活や一般教員は全く知らないというのが通例と考える。是非各学校の職員研修会で5年に1度でも開催してほしい。ホームページやオンライン配信も有効と考える。」

といった御意見をいただきました。

今回のように関係機関等で実施される研修等で「JSC職員から学校事故防止に関する話をしてもらいたい」等の御要望がございましたら、福岡支所までお問い合わせください。

リモート研修も対応可能ですので、是非御検討よろしく申し上げます。

〔研修で紹介した事故防止に資する主な資料等〕

- 学校事故事例検索データベース

平成17年度～令和2年度までに災害共済給付がなされた8,404件の死亡・障害事例を掲載しています。

どのような時に、大きな事故が起きているのかを簡単に検索することができます。

事例を知ることにより、事故の再発防止にご活用いただけます。

※令和4年8月1日にリニューアルされ、検索方式からダウンロード方式となりました。死亡見舞金、障害見舞金、供花料ごとにエクセルでダウンロードしてお使いいただけます！

The image shows a screenshot of the 'School Safety Web' website. The page header includes 'JAPAN SPORT 日本スポーツ振興センター' and navigation links like 'ホーム', '災害共済給付', '学校安全支援とは', '刊行物一覧', and 'お知らせ'. The main content area features a banner with children and the text '子どもたちの元気な笑顔を守るために。'. Below the banner is a news section with three items dated 2022. A red callout box on the right highlights a specific link: '学校事故事例検索データベース'. The callout box contains the text: '学校事故事例検索データベース', '災害共済給付がなされた8,404件の死亡・障害事例を検索できます', and a starburst graphic saying 'こちらをクリック' (Click here).

<参考資料>

- ※1 [学校安全Web](#)
- ※2 [学校事故事例検索データベース](#)